

☆単元名『言葉に着目！詩の魅力を見つけよう。』

課題①あなたは、この詩に対してどんな問いをもつことができるか。



「あしたこそ」を例に参考にできるだけたくさん書き出そう。
学習のポイントは自分自身で「問いをもつこと」

課題②抱いたそれぞれの問いに対して、自分なりの考えをノートに書いていこう。

例を参考に自分の考えを数行程度で書こう。

課題①の例「あした」ではだめなのか？なぜあした「そ」といつているのか。



あしたこそ たんぽぽはるか

課題①の例「こ」でいうひかりって何？

ひかりを おでこに

くつつけて

はなひろく ひを

ゆめにみて

たんぽぽわたげが

課題①の例 何かに出会ったためにとぼす「わたげ」とはなんのことか？

まいあがります

課題①の例なぜ舞い上がるなのか。飛び上がるではぶつかっ？

とんでいこう どいまでも

あした

たくさん「こ」にちは「こ」に

であうために

課題①の例なぜ「こ」で終わっているのかな。

課題①②

おれはかまきり

かまきりりゆうじ



「小学校で学んだことを生かして中学校の国語を学んでいこう」

課題②の例「あした」でもなく、「あした」「でもなく」「あした」「そ」という言葉を選んでいることで、やろうと思ってもなかなかできないことで、勇気がいることだと感じ、「そして、なんとか明日は、やりとげたい」という決意のような希望ということが伝わっている。
わたしも、人見知りで自分から何かをすることができないことが多いので、共感できる。

おう なつだぜ

おれは げんきだぜ

あまり ちかよるな

おれの ころも かまも

どきどきするほど

ひかつてるぜ

おう あついぜ

おれは がんばるぜ

もえる ひをあびて

かまを ふりかざす すがた

わくわくするほど

きまつてるぜ

あきのひ

のぎくみちこ

かぜが

とおりました

わたしは はなびらを

ゆすりました

だれかに よばれたきがして

ふりかえると

ゆうひが くるくると

しずむところでした

いのち

けやきだいさく

わしの しんぞうは

